

生産者情報コーナー

組合員の皆さんの実践例を載せ、参考にさせていただくコーナーです。前々号のストック栽培に続いて、腰越地区の滝沢勝さんからきゅうりのハウス促成栽培の日誌記録を提供して頂きましたのでご紹介します。（貴重なデータをありがとうございました。）

平成18年度ハウスきゅうり促成栽培管理記録

- 2月 6日 苗床作り
- 2月17日 育苗床土蒸気消毒（畑の土、焼きぬか、バーク堆肥を混ぜたもの）温床線（30メートルもの）設置、サーモスタット設置、育苗箱床土入れ（6枚使用）、播種準備
- 2月20日 きゅうり播種（品種：サッカー300粒、パイロット20粒）、播種床温度28℃サーモを設定
- 2月23日 きゅうり発芽出揃う。播種床温度20℃に下げる（徒長させないため）
- 2月24日 接木用台木かぼちゃ播種（品種：ひかりパワーZ）330粒、播種床28℃にサーモ設定  
きゅうりの播種床18℃に設定温度を下げる。
- 2月28日 接木用かぼちゃ発芽出揃う
- 3月4日～5日 ハウスきゅうり接木 本数310本:ハウス面積60坪用接ぎ木苗床温18℃に設定
- 3月 7日 接ぎ木苗床温 15度に設定
- 3月12日 栽培予定圃場に元肥を施肥(腐植リン10kg,サンライム15kg,燐硝安カリ10kg)
- 3月13日 定植準備 ロータリー耕起
- 3月15日 ハウスビニールがけ サイドはサンサンネット併用（アブラムシ、アザミウマ防除のため）  
ウイルス病に注意必要
- 3月17日 栽培床づくり。植え床全面黒マルチ被覆
- 3月19日 きゅうり棚づくり 3月21日 2重カーテン張り
- 4月 1日 きゅうり定植。株間55センチ。ハウス内4条植え。  
温度管理は日中25℃～28℃を目標。夜温は5℃以下にしない。
- 4月30日 きゅうり初収穫

野菜の作業

種まき	栽培管理のポイント								
<p>ハウス育苗野菜の播種</p> <p>春レタス：ステイ、ウイザート</p> <p>キャベツ：SE、YRSE ⇒中旬～</p> <p>春ハクサイ：優黄、彩星 ⇒下旬～</p> <p>果菜類（ナス・ピーマン等） ⇒ハウス用：上旬～</p> <p>ネギ：夏扇2号 ⇒中旬～</p> <p>セルリー：トップセラ ⇒上旬～</p> <p>ブロッコリー：緑帝、ハイ ⇒中旬～</p> <p>パセリ：けさお ⇒上旬～</p> <p>ニラ など</p>	<p>【トマト・キュウリの移植（鉢上げ）と管理】</p> <p>本葉が2～3枚の頃に出来るだけ根を切らないよう12cmポットに鉢上げ。鉢土は事前に詰めておき、灌水し地温を高めておきます。</p> <p>移植後は多量な灌水はせず、株元を落ち着かせる程度にします。活着までは寒冷紗などで覆い、活着後は光を十分に宛てます。活着後は徐々に夜温を下げ、育苗前半は16℃後半は12℃くらいを目安にします。</p> <p>灌水は午前中に（できればハウス内に汲みおいた水を！！）日中は十分に日にあててください。</p> <p>【果菜類の接ぎ木】これから播種する方は台木も一緒に播いてチャレンジしてみても！！</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>品 目</th> <th>主な使用台木</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トマト</td> <td>アンカーT、がんばる根シリーズなど</td> </tr> <tr> <td>キュウリ</td> <td>ひかりパワー、パワーZ2（いずれもブルームス）クロダネ など</td> </tr> <tr> <td>ナス</td> <td>耐病VF、トナシム</td> </tr> </tbody> </table> <p>接木の方法は、キュウリは呼び接ぎ、トマトは呼び接ぎと割り接ぎ、ナスは割り接ぎが従来から多く行なわれています。</p> <p>ナスの台木は穂木より早播きします。（耐病VF3日程度、トシム6～14日。温度が低いとさらに発芽、生育が遅いので温度をしっかりと確保します。）</p> <p>※接ぎ木の仕方の詳細についてはお問い合わせください。</p>	品 目	主な使用台木	トマト	アンカーT、がんばる根シリーズなど	キュウリ	ひかりパワー、パワーZ2（いずれもブルームス）クロダネ など	ナス	耐病VF、トナシム
品 目	主な使用台木								
トマト	アンカーT、がんばる根シリーズなど								
キュウリ	ひかりパワー、パワーZ2（いずれもブルームス）クロダネ など								
ナス	耐病VF、トナシム								

●野菜種子の発芽条件（中村、1967より）・今後の播種の参考にしてください。

品目	最低気温	最適気温	最高気温	品目	最低気温	最適気温	最高気温
ハクサイ、キャベツ、ブロッコリー	4	15~30	35	ナス	10	15~30	33
ゴボウ	10	20~30	35	トマト、トウガラシ	10	20~30	35
レタス、シュンギク	0~4	15~30	30	キュウリ等ウリ科	15	20~30	35
ニンジン	4	15~30	33	インゲン	10	20~30	35
ミツバ	0~4	15~20	28	エンドウ、ソラマメ	0~4	15~25	33
セルリー			30	ホウレンソウ	0~4	15~20	30
ネギ	4	15~25	33	シソ	0~4	15~20	28
ニラ	0~4	15~20	25				

●育苗用の床土・・・2006年2月号に記載されていますので、参考にしてください。

ほうれんそう一口メモ



ほうれんそうはアカザ科の作物。はじめて栽培されたのはペルシア地方だったと考えられています。ヨーロッパには中世末期に持ち込まれ、東アジアにはシルクロードを通して広まり、中国には7世紀、日本には17世紀に渡来したといわれています。ビタミンAや葉酸、鉄分が豊富にふくまれています。一方、体に良くないとされるシュウ酸や硝酸態窒素も含まれていますが、茹でて水にさらすと溶け出します。（たっぷりの水で茹でてください。）なお、寒締め栽培をした場合、これらの成分は減り、ビタミンや糖分は逆に増えるとされています。

質問コーナー



農業豆知識

有機物の補給や連作障害の回避、病害虫防除のために利用できる作物について教えてください。

これらの作物には、緑肥作物、共栄作物がありますが今回は緑肥作物についてお知らせします。

○緑肥作物とは？・・・土壌を肥沃化する目的で栽培され、腐熟させずに土にすき込む作物

○緑肥作物の主な効果は？

- ①有機物の供給（深く根が張る作物は物理性の改良効果も大）
- ②異なる科の作物を導入し連作を避け土壌病害を軽減
- ③土壌の有害線虫を抑制する（ヘイオーツ（エンバク野生種）、ネマクリーン（クロタラリアなど））

○緑肥作物の主な種類は？

品名	主な効果	備考
エンバク（イネ科）	有機物供給、下層土の改良	作物収穫後秋に播種 但し、冬期間は枯死
ソルゴー（イネ科）	有機物供給、農薬ドリフト防止	夏期に栽培 作物の周囲または畦間に播種
ライムギ（イネ科）	有機物供給、土壌飛散防止、下層土改良	作物収穫後秋に播種 越冬可
マルチ大麦（イネ科）	雑草抑制、敷きワラの代替	春播種、作物の間作
ネマクリーン（豆科）	センチュウ密度抑制、窒素固定、景観形成	夏期作物の休閑中に栽培
レンゲ	窒素固定、景観形成、蜜源	初秋に播種

○刈取り・すき込みの時期は？

用途によって異なりますが、有機物補給には出穂期頃がよいとされています。（種子の雑草化を防止する）

あさつゆ連絡先 電話:FAX 41-1062

技術事項作成協力：上小農業改良普及センター  
櫻井主任企画員 (Tel.25-7157)